

2025年10月16日

株式会社山梨中央銀行
株式会社静岡銀行
株式会社八十二銀行

八十二銀行アレンジのシンジケートローンに参画

～長野・白馬八方尾根の地方創生案件を支援～

「富士山・アルプス アライアンス」における地方創生の取り組みの一環として、八十二銀行（頭取 松下 正樹）が組成する「シンジケートローン」に山梨中央銀行（頭取 古屋 賀章）と静岡銀行（頭取 八木 稔）が参画しましたので、その概要をご案内します。

1. シンジケートローンの概要

契約先	名称	八方尾根開発株式会社
	所在地	長野県北安曇郡白馬村北城 5713
	設立年月日	1960年12月9日
	資本金	84百万円
金額		2,300百万円
資金用途		白馬八方尾根スキー場の新ゴンドラリフト建設資金
参加金融機関		株式会社八十二銀行 長野県信用農業協同組合連合会 株式会社日本政策金融公庫 大北農業協同組合 株式会社山梨中央銀行 株式会社静岡銀行

2. 参画の目的

- 山梨中央銀行、静岡銀行、八十二銀行は、2025年3月に包括業務提携「富士山・アルプス アライアンス」を発足し、山梨・静岡・長野3県の地域ブランド向上につながる協業施策の検討を進めてきました。
- 本取り組みの一環として、日本屈指のスキーリゾート地である白馬八方尾根に施設を構える八方尾根開発株式会社が進める大型設備投資計画に3行が協力して支援することは、地域の観光産業の活性化に貢献するとともに、本アライアンスでめざす「3県（山梨・静岡・長野）における人口の社会増」につながるものと考え、シンジケートローンに参画することとしました。
- 今後も、アライアンス行との協調体制を強化し、地域の成長産業を金融面から支援するなど、地域やお客さまの多様なニーズに適切なソリューションを提供していくことで、地域経済の活性化に取り組んでまいります。

【ご参考】八方尾根開発株式会社の概要

- 八方尾根開発株式会社は「白馬八方尾根の自然やこの地に育まれた風土、文化、人情とのふれあいを」といったコンセプトのもと、白馬八方尾根スキー場をはじめ、オールインクルーシブスタイルのアウトドア宿泊施設や温浴施設など、豊かな地域資源を活用した多様な事業を展開しています。
- 2027年12月には、白馬八方尾根スキー場の新ゴンドラリフト、センターハウスの開業を予定しており、「四季を通じたプレミアム国際山岳リゾート」として注目を集めています。